

# 少年・学童（女子含む）軟式野球大会応援ガイドライン

2026年

一般社団法人 北海道軟式野球連盟



応援については競技者必携 P11～P12 を基本とし、マナーに配慮した取り組みをお願いします。

## ◎野球にヤジは必要ありません

【ヤジ損滅運動展開中】

- ・大人から子どもまで、ヤジの無いクリーンな軟式野球界を目指しましょう。
- ・軟式野球の選手・チーム・審判・大会関係者はみな仲間です。
- ・選手も応援もヤジを無くしましょう。

## ◎マナーを守った節度ある応援について

マナーを守った節度ある応援については、チーム代表者が責任を持ってください。対戦相手チームの投手や選手にプレッシャーをかけるような応援は慎みましょう。

また、懸命なプレイや素晴らしいプレイには、自チーム、相手チームに関係なく、大きな称賛を送りましょう。

- ① 試合前のシートノック時やスターティングメンバーのアナウンス時には、声援を控えてください(拍手は可)。
- ② イニング間は一切の応援をやめ、守備側は座ったまま、個別の声援や拍手で応援する。試合が中断(球審の場内放送や選手のケガなど)した場合、応援は直ちに中止してください。
- ③ 試合途中のグラウンド整備中は、応援を中止して水分補給や休息に充ててください。
- ④ 太鼓・ホイッスル・ブラスバンドによる鳴り物による応援も認めますが、相手チームや周辺環境に配慮した応援としてください。(2026年度修正)
- ⑤ 個人名を書いたのぼりは、応援席の後方に限り立てることができる。

(2026年度修正)

※なお、鳴り物を制限している球場では禁止します。

## ◎その他

- (1) チームの応援旗は、グラウンドの内側ではなく外側に掲示する。
- (2) 紙吹雪・紙テープを使うことは控える。
- (3) 応援席を散らかさず、ごみは持ち帰り、美化に心がける。
- (4) 試合を妨害するような応援はしない。
- (5) 拡声器などの音響機器類の使用は禁止する。
- (6) ベンチ内や応援席から、いかなる状況であっても、選手を委縮させるような言動を禁止する。
- (7) 選手、審判員などに対するSNSでの誹謗中傷は絶対やめましょう。